

酒田コミュニケーションポート（仮称）市民参画手法の検討状況について

1 市民参画の必要性

市民に親しまれ、酒田コミュニケーションポート（仮称）の政策目標の実現を図っていくためには、市民ニーズの変化に反応し、随時、的確に把握する必要がある、その運営への利用者の参画が欠かせない。その参画を実現し、実効性のあるものにするため、市民（利用者）と施設管理者等が日常的なコミュニケーションを図ることが出来るような仕組みの構築が求められる。

本施設は、公共機能としては、図書館機能と観光情報センターが核としてあり、また、民間施設との複合施設ということで、個別機能ごとだけでなく、施設全体としての市民参画のあり方も模索する必要がある。

■整備基本計画（H28 策定） 抜粋

13 市民とともに歩み、成長していく施設づくりを目指して
 ～ 市民のものとして、市民と協働し、ともに成長していくことで、目標を達成することができます。市民アンケートでは、運営に参画してみたいという回答が 56.3% と半数以上もの多さで、多くの市民の参画意欲が確認できました。

具体的な市民協働の仕組みとして、次のことが考えられます。

- ・アンケート（満足度調査等）、ワークショップ、グループインタビュー等の定期的実施

市民の声を事業計画に反映させていくため、様々な手法を用いて、中長期的に市民が参画しやすい環境を作ります。

- ・市民サポーター制度の導入
ボランティア団体とも連携し、施設全体の市民サポーターを形成します。
- ・運営評価委員会への参画（再掲）

公募により運営評価などを行う委員会への市民参画を図ります。

施設が出来てからが、本当のスタートだとも言えます。時代の流れとともに市民ニーズの変化に的確に反応し、対応できるよう、市民参画型の施設づくりを進めていきます。

2 現状の市民参画手法

(1) 協議体組織

- ・図書館協議会

(2) ボランティア団体等（協働）

- ・読み聞かせボランティア あさの葉会
- ・読み聞かせボランティア 絵本の部屋
- ・点訳ボランティア はまなす
- ・観光ガイド協会
- ・酒田おもてなし隊（公益大）（観光）
- ・音訳ボランティア 風と光と

(3) その他（全市的なもの）

- ・パブリックコメント
- ・意見交換会 など

※市民参画とは…市の施策の企画立案から意思決定に至るまでの過程において、市民が自己の意思を反映させることを目的として意見を述べ、又は提案を行い、及び市の施策の実施の過程において市民と市が協働することにより、市民が市政に参画することをいう。（出典：鹿児島市の市民参画を推進する条例）

3 論 点

(1) 組織体制について

① 課 題

- 既存ボランティア団体を含めながら、本施設の政策目標を実現させるための効果的な体制づくりをどう構築していくか。

② 他団体の組織体制の事例

➢ 八戸ポータルミュージアム（複合施設）

- ・コーディネーター（市嘱託職員）が、市民参加スタッフを取りまとめている。
- ・市民スタッフは、市民学芸員という位置付けで 35 人程度。60 台の女性が多い。
- ・市民サポーター 2 人がシフト制で施設内に常駐し、ボランティアガイドを務めている（交通費のみ支給）
- シブヤ大学（街を大学のキャンパスに見立てて、街のヒト・モノ・コトを再発掘、編集していく NPO 運営の活動）

- ・運営者のNPOが、ボランティアスタッフをコーディネート
- ・ボランティアスタッフは、複数のカテゴリーから選択するメニュー方式（例：授業イベント運営、授業企画コーディネート、ゼミ・サークル企画運営、キャンパス活動、広報PR活動 etc）

➤ **りぶらサポーターズクラブ（愛知県岡崎市図書館）**

- ・サポーターズクラブ自体が、NPOとして組織化。
- ・図書館と連携しながら、活動を実施。
- ・会員数は約 20 名。代表は会社員の男性。
- ・施設を建設する際に市が開催した WS の参加者たちがサポーターへ派生し、運営委員会ができた。
- ・岡崎市から若手専門家が協力要請を受け、「りた」という、市民と行政をつなぎ役割を担う組織を作り、まちづくり活動を包括的に支援している。

➤ **おおぶの杜育み隊（愛知県大府市図書館）**

- ・図書館の運営主体である指定管理者が、事務局として育み隊をコーディネートしている。文化交流部門と図書館部門からなる複合施設であり、2つの指定管理者がそれぞれのボランティア団体の事務局をコーディネートしている。
- ・14 団体（読み聞かせや高校生ボランティア等）/100 人以上のサポーターが登録している。
- ・普段は各々の団体での活動であるが、年に 1 度開催される子どもまつりにサポーターとして協力している。

③ **本市の市民参画全体イメージ（たたき台）**

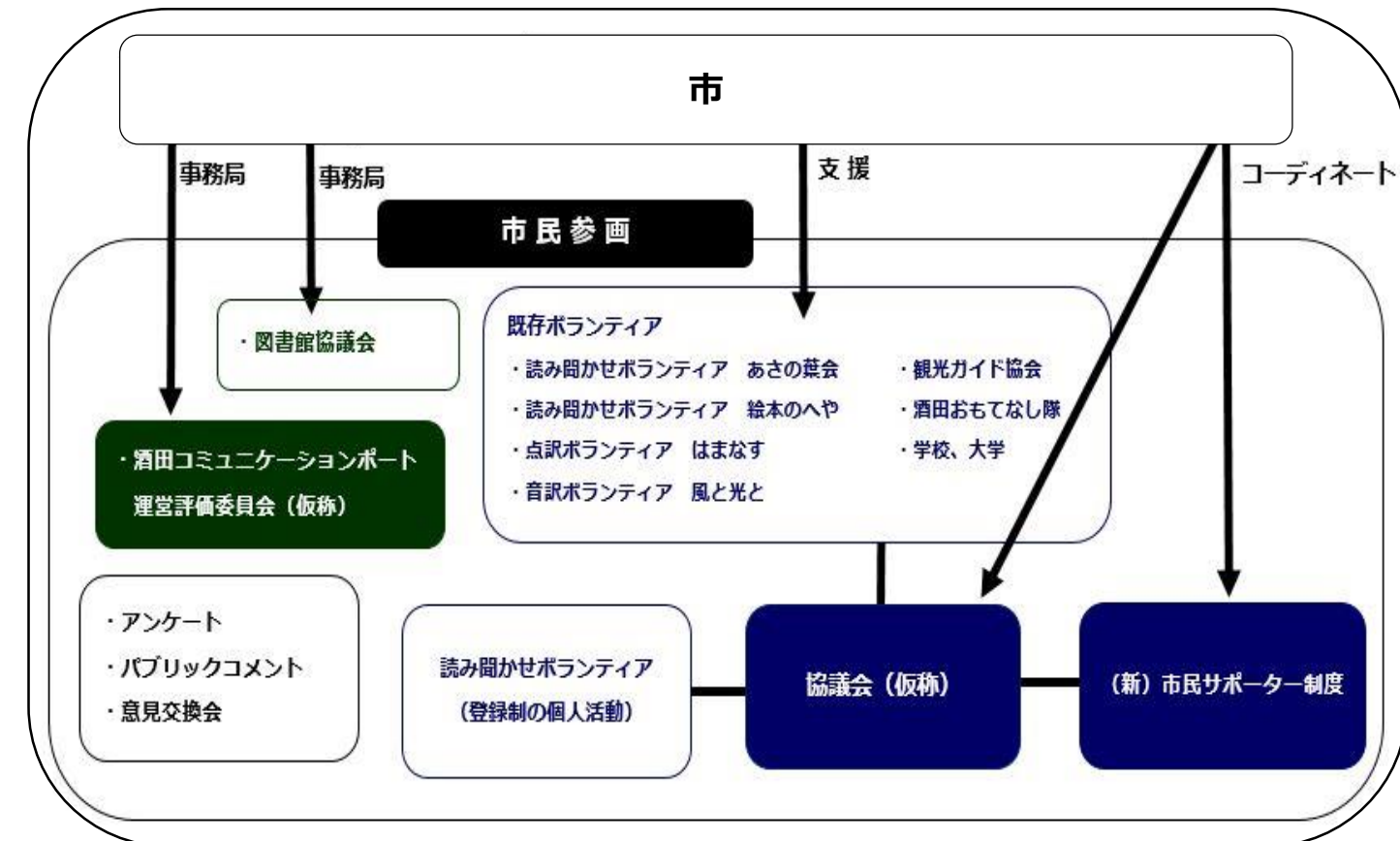
- ・今回、新たに、酒田 CP の市民参画の受皿として、市民サポーター制度の導入を検討する。
- ・既存ボランティア団体等と市民サポーターの調整役となるコーディネーターを市が担っていく。
- ・学校連携も広い意味で市民参画と捉える。
- ・既存ボランティア団体等と市民サポーターを繋ぐ連絡協議会（仮称）的な機能を設置する。それぞれが緩やかに交流する場作りや、相互の情報を共有できるような場を提供する。協議会には、市、既存ボランティア団体等の代表等や市民サポーターがメンバーとして入り、運営していく。
- ・整備検討委員会内で出された意見などを踏まえながら、酒田 CP 全体の政策目標の達成状

況等の評価を行う外部組織の酒田コミュニケーションポート運営評価委員会（仮称）を設置する。

※ **整備検討委員会での参考意見（8/28）**

- ・こういったことができる施設なんだという情報発信や、できあがったあとのモニタリングなどチェックする体制を今後、考えていかなければならない。運営する人だけでなく、外部意見を入れながらやっていった方がよい。

※ **市民参画全体イメージ図**



4 **市民サポーター制度の実施イメージ（たたき台）**

(1) **実施方法（案）**

- ・広く参画してみたい人の募集を行い、市民サポーターとして具体的な活動内容を企画・運営していく。酒田 CP や新しい図書館でしたいこと、してみたいことがある人向けの WS を開催するなどし、キーパーソン探しや市民同士のつながりを作るきっかけも目的とする。

(2) 具体的な活動内容例（参考）

- ・ イベント企画・支援、企画運営
- ・ 講座開催（高校生による PC 使い方講座や物作り、市民司書講座や市民観光ガイド等）
- ・ 図書館内での書架整理や修繕、POP 作り
- ・ コミュニケーションポートまつり（年 1 回、既存ボランティア団体等とのコラボ等）

(3) 他市事例（参考）**① おおぶの杜育み隊（愛知県大府市）**

《文化イベントのサポート活動》

- ・ ホールでチケットもぎりや客席案内などを行う「フロントスタッフ」
- ・ 施設近隣のお店や施設に置きチラシやポスター貼りなどを依頼する「広報・PR 活動」

《イベントの企画運営活動》

- ・ 月 1 回程度の企画会議、また、イベントの企画運営が初めての方には、企画運営に関する研修に参加。

② りぶらサポーターズクラブ（愛知県岡崎市）

- ・ 本の清掃、布絵本製作、書架整理（月 2 回程度）
- ・ 図書館サポート

→ 図書館とさまざまな分野（医療関係、ビジネス支援等）をつないでの講座の開催。

- ・ りぶら講座

→ 市民が講師となり、市民同士で学び合う講座。5 年間で 1,019 講座、296 名の講師、延べ 8,468 名の受講生。